

# 風土記の丘の花だより<sup>235</sup>

今、そしてこれから見られる植物(2024年5月11日)

サクラ、フジなど、目立った花は終わりましたが、野山は千紫万紅、色とりどりの花が咲いています。その花をお目当てに、たくさんの虫が集まり、いろいろなチョウが飛び回り、すっかり初夏になりました。山歩きが本当に気持ちいい季節です。



前はマルバウツギを紹介しましたが、今回は本家本元(?)のウツギから紹介します。「卵の花の匂う垣根に、時鳥(ほととぎす) 早も来、鳴きて、忍音(しのびね) もらす 夏は来ぬ」唱歌「夏は来ぬ」はまさに今の季節の歌です。その卵の花がウツギです。園内のいろいろな所で見られますが、万葉植物園入り口手前が一番見事です。真っ白な花が覆い被さるように咲いています。旧暦四月を卯月というのは、この花が咲く時期だからです。余談ですが、おからのことも「うのはな」っていいですね。



柵や他の木に巻き付いてスイカズラの花が咲いています。咲き始めは左の花のように純白ですが、しばらくすると色あせて、右のような黄色に変化します。それでシャレてこの花を「金銀花・きんぎんか」と呼ぶ風流な人もいます。香りもなかなかステキで、それほどきつくなく、ほのかに漂う程度なので上品です。漢字では忍冬と書きます。冬を耐え忍び、暖かくなったら花を咲かせるのです。(でも、花って、だいたいそんなものですよ) さて、スイカズラは木でしょうか、草でしょうか。答えは・・・木です。左の写真の真ん中辺りに丸いものが見えます。拡大写真でよく分かりますね。このイガイガ・トゲトゲのものは、イ



ガトキンソウという外来植物の花です。これでもキク科の植物です。この刺はとても鋭くて、軍手などは簡単に突き刺します。地面に何気なく手をついた時、チクとした経験はありませんか？



藤棚の近くの池(新池といいます)に黄色い花がたくさん咲いています。外来植物のキショウブです。漢字で書くと「黄菖蒲」ですが、ショウブの仲間ではなく、アヤメの仲間です。昔からショウブとアヤメは混同されてきました。ショウブはサトイモ科で、きれいな花は咲きません。カラフルなヒラヒラした「花菖蒲」もショウブと付きませんが、アヤメの仲間です。ややこしいですね。 松下